

段階から実用化段階への移行を支援する。

- ・平成31年度は、炭素繊維を使った新たな用途開発を促すための「複合材料試験加工機」、およびCFRPを加工する航空・宇宙分野や次世代自動車分野において、「デジタルマイクロスコープ」および「表面粗さ計」を導入することで、炭素繊維材料の微小孔、表面粗さ分析が可能となり、商品開発の支援となった。

(3) 県負担・補助率の考え方

交付金事業に当てられている。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|-------|--------|---------|
| 備品購入費 | 41,267 | 研究備品の購入 |
| 合計 | 41,267 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・工業系試験研究機関の再編における企業支援事業促進の一環

(2) 国・他県の状況

- ・CFRP関連の材料開発やIoT関連事業への支援が活発化している

(3) 後年度の財政負担

- ・故障時の修繕費用

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・岐阜県（工業系試験研究機関）が企業支援を実施し、新規分野への参入への障壁を低くすることで産業振興を促す。

事業評価調査（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・令和3年度中に県内企業が成長産業分野に参入していくための、高度な試験研究設備を県が試験研究機関へ設置し、依頼試験あるいは開放機器として利用可能にすることで、研究段階から実用化段階への移行を支援する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 | 指標の推移 | | 現在値 <small>（前々年度末時点）</small> | 目標 | 達成率 |
|----------------------------|------------|-------|--------------|---------------------------------|--------------|-----|
| 機器利用の推進 ※導入次年度の利用 件数 | 0 (H26) | (H) | 668 (H28) | 1298 (H29) | 2120 (R2) | 61% |

○指標を設定することができない場合の理由

※目標設定は導入次年度の利用件数となっております。
機器の選定・および増加するごとに利用件数目標が変動します。

（前年度の取組）

・炭素繊維を使った新たな用途開発を促すための「複合材料試験加工機」を導入し、試作開発を促した。
・CFRPを加工する航空・宇宙分野や次世代自動車分野において、「デジタルマイクロスコープ」および「表面粗さ計」を導入することで、炭素繊維材料の微小孔、表面粗さ分析が可能となり、商品開発の支援となった。

（前年度の成果）

・産業技術総合センターに導入された「複合材料試験加工機」を利用した試作開発を通じて、新たな商品開発に対する相談企業が増加した。
・産業技術総合センターに導入された「デジタルマイクロスコープ」および「表面粗さ計」の利用促進のための講習会を実施するとともに、技術相談等において積極的に機器の紹介を実施し利用を促進した。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い | |
| (評価) ○ | 各分野の業種別懇談会における企業からの要望に沿っており、県の関与は妥当。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない | |
| (評価) ○ | 各分野の業種別懇談会における企業からの評判も好評である。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある | |
| (評価) ○ | 機器の導入については、企業からの要望を取り入れたうえで入札を実施しており、効率的である。 |

(今後の課題)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 導入機器の故障時の対応や、古くなった場合の更新 |
|---|

(次年度の方向性)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内各分野の業種別懇談会から意見を吸い上げ、現在の成長産業分野で必要な機器を選定・導入し、企業支援を実施する。 |
|---|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|------------------------|--|
| 組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 | |
| 組み合わせて実施する理由や期待する効果 など | |